

# 新たな綾部市図書館整備 検討報告書

平成30年11月

新たな綾部市図書館整備検討委員会

## はじめに

綾部市図書館は、昭和25年1月に「綾部町立図書館」として当時の波多野記念館2階に開設しました。同年8月、市制施行により「綾部市図書館」に名称変更し、昭和38年に綾部市市民センターの完成に伴い移転。その後、第3次綾部市総合計画の中で「心の豊かさを育てるまちづくり」の一つとして図書館の建設が計画され、平成5年に新宮町の簡易裁判所を増改築し、新綾部市図書館としてオープンしました。

以来、各年齢層に合わせて様々な工夫を重ね、小さいながらも市民に寄り添ったきめ細やかなサービスの向上に努めてこられました。

しかしこの間、少子高齢化、インターネットの普及等により、図書館に対する市民ニーズも複雑多様化してきました。また、建物の老朽化も進み、市民や図書館利用者からは「本が少ない」「アクセスが不便」「施設が狭い」など、新しい図書館の整備を望む声も多く寄せられている状況です。

このような中、新たな図書館の整備について、平成30年6月に綾部市図書館整備検討委員会が設置され、中井孝幸教授の専門的立場からのご指導をいただき、綾部市図書館協議会委員を中心とする17名の委員が、様々な立場から「新たな図書館整備に関するアンケート」の結果や先進的な図書館施設の事例を参考に熱心に検討を重ねました。

ここに、検討内容を取りまとめ報告いたします。

## 目 次

はじめに	1
I 現状と課題	4
1 現状	4
(1) 施設概要	4
(2) 利用状況（平成29年度）	5
2 課題	6
(1) 利便性	7
(2) 施設の機能	7
(3) サービス	9
II 新たな図書館の目指すもの（基本理念）	11
III 新たな図書館整備の基本方針	13
1 だれもが集まりやすい利便性の高い図書館（場所）	13
2 一人ひとりの思いを大切にする場としての図書館（施設）	13
3 利用者の様々な活動を支援する図書館（サービス）	13
4 豊かで新鮮な本があふれる図書館（資料）	14
5 綾部の魅力や地域文化の情報発信拠点としての図書館（情報発信）	14
IV 新たな図書館整備の計画	15
1 施設計画	15
(1) 施設立地規模など	15
(2) 北部産業創造センターとの連携	16
(3) 蔵書冊数	16
(4) 施設機能	17
2 館内環境など	23
(1) 館内環境	23
(2) サイン計画	23
(3) 維持管理	23
(4) 安全性確保	24
3 管理運営	24
(1) 職員体制	24
(2) 開館時間	25
(3) 休館日	25
おわりに	26

V	資料	27
1	新たな綾部市図書館整備検討委員会設置要綱	28
2	新たな綾部市図書館整備検討委員会名簿	29
3	新たな綾部市図書館整備検討委員会開催経過	30
4	新たな図書館整備に関するアンケート結果	33
5	「図書館への来館者数の予測」についての資料	45

# I 現状と課題

## 1 現状

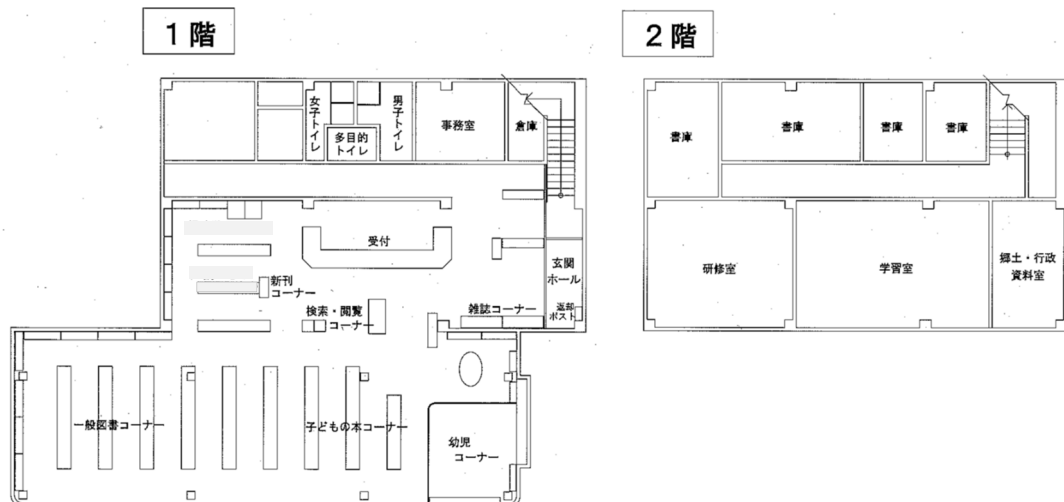
### (1) 施設概要

所在地 綾部市新宮町9 1 番地

敷地面積 1, 150. 19 m<sup>2</sup>

総面積 575. 07 m<sup>2</sup>

1階(373. 42m <sup>2</sup> )	面積
図書コーナー(受付、書架など含む)	223. 33m <sup>2</sup>
幼児コーナー	
閲覧席(一般席8席、児童席8席、 軽読書席15席、その他5席)	
事務室	14. 54m <sup>2</sup>
玄関ホール	34. 35m <sup>2</sup>
倉庫、控室	20. 57m <sup>2</sup>
その他(トイレ、湯沸室など)	80. 63m <sup>2</sup>
2階(201. 65m <sup>2</sup> )	
学習室	51. 87m <sup>2</sup>
研修室	36. 62m <sup>2</sup>
書庫(5室)	113. 16m <sup>2</sup>
自転車置き場(20台)	10. 34m <sup>2</sup>
一般駐車場(19台)	—



(2) 利用状況 (平成29年度)

① 開館日数、入館者数及び貸出冊数

開館日数 277日  
 入館者数 52,923人  
 貸出冊数 139,780冊

② 蔵書冊数 86,678冊

開架 59,764冊  
 書庫 26,914冊

③ 登録者数 17,153人 (一般16,157人、児童996人)

綾部市内 16,562人  
 綾部市外 591人

【参考】各種指標 (平成29年度年報から)

A	人口 (住民基本台帳 (平成30年3月31日現在))	33,808人
B	登録者数	17,153人
C	職員数	5人 (内嘱託3人)
D	貸出冊数	139,780冊
E	蔵書冊数	86,678冊
F	年間購入冊数	2,630冊
G	図書購入費	4,538千円
H	図書館費	31,250千円
I	予約・リクエスト件数	7,084冊

1 登録率  $B/A \times 100 = 51\%$

2 市民1人当たり貸出冊数  $D/A = 4$ 冊

3 登録者1人当たり貸出冊数  $D/B = 8.1$ 冊

4	市民1人当たり蔵書冊数	$E/A$	=	2.5冊
5	市民1人当たり年間購入冊数	$F/A$	=	0.07冊
6	市民1人当たり図書購入費	$G/A$	=	134円
7	職員1人当たり奉仕人口	$A/C$	=	6,761人
8	職員1人当たり貸出冊数	$D/C$	=	27,956冊
9	蔵書回転率	$D/E$	=	1.6回

## 2 課題

現在の図書館は、施設自体が旧簡易裁判所を増改築したもので、図書館を目的とした構造の建物でない上に、施設の老朽化も著しく、さらにバリアフリーにも対応できていません。また、図書館サービスの充実に努めた結果、蔵書数や利用者の増加により収蔵スペースや閲覧席数が少なく施設全体が手狭な状況となっています。

このような中、多くの市民や利用者の皆さんから「もっと多くの図書資料を」「ゆったりと過ごせる図書館に」さらには「便利で利用しやすい場所に」など多くの要望があるところです。

平成30年4月から5月にかけて行われた「新たな図書館整備に関するアンケート（以下「アンケート」という。）」によると、「図書館を利用しない理由」として、「場所を知らない」（利便性）、「開館時間が合わない」（サービス）の回答が多く、また、「車で行きにくい」「駐車場が少ない」「本が少ない」などの意見も多くありました。さらに、「新たな図書館に望むこと」としては、「静かで、ゆっくり本が読める」「集中して気兼ねなく利用できる」とともに「親子で気兼ねなく利用できる」「にぎやかで明るく開放的な環境」にも多くの回答がありました。

これら多くのご意見を参考に、現在抱えている課題を整理しました。

## (1) 利便性

### ① 位置が分かりづらい

まちなかの住宅地に位置し、最寄りの幹線道路から離れた場所にあるため分かりづらい状況です。

### ② 公共交通機関が少ない

図書館利用に際して活用できる公共交通機関は、「あやバス」のみで、最寄りのバス停も遠く、1日6往復で概ね2時間に1便の運行となっています。

### ③ 駐車場が不足

自動車で来館する利用者が多いため、土日や行事のある日は駐車場が満車となり、利用に支障をきたすことがあります。



駐車場

## (2) 施設の機能

### ① 図書館機能が不十分

昭和58年に簡易裁判所として建設された施設を利用しているため、耐荷重や図書館に必要な機能が不十分です。また、建設から35年以上が経過しており建物の床にひび割れや雨漏りが発生するなど、深刻な状況です。



全景

### ② 施設が手狭

#### ア 開架スペース・閉架書庫の不足

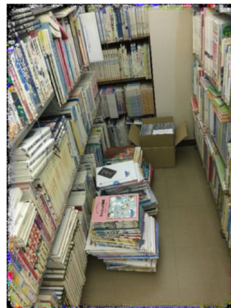
蔵書の増加とともに、開架スペースや閉架書庫が不足しています。利用者が直接本を手に取り選べるよう、1階の開架スペースに書架やブックトラックを増やしました。そのため、高い場所に本が並び、通路幅も狭く、



圧迫感のあるレイアウトになっています。これ以上、開架スペース・閉架書庫を確保することができず、多様化する利用者ニーズに対応するだけの蔵書を確保することが難しい状況です。



1階開架スペース



2階閉架書庫



2階廊下

## イ 閲覧席や児童向けスペースの不足

閲覧席は、一般8席、児童8席と非常に少なく、また、書架の間の空いたスペースに簡易なイスを置いている状況であり、ゆったりと本を読む環境になっていません。

児童コーナーは、絵本や児童書をできるだけ多く置きたいため、ゆっくりと読み聞かせをするスペースを確保することが難しい状況です。



閲覧席



イス席



児童コーナー

## ウ 学校支援、ボランティア連携のための作業室の不足

学校支援として調べ学習の本の提供や、ボランティアとの連携に力を入れていますが、資料相談や打ち合わせなどの作業室がなく、カウンターや事務室を代替えとしている状況です。

### ③ ゆったり過ごせる空間、交流の場の不足

ゆったり過ごせる空間がなく、本を通して市民が交流する場所もありません。本を通しての談笑やボランティア・各世代の集い、親子で過ごせるコーナーなど、「にぎやか」なコミュニティの場が確保できない状況です。

### ④ バリアフリー化が不十分

館内は、1階の開架スペースに少しでも本を置くことを優先したため、車いすでの来館者が利用しにくい状況です。また、エレベーターがなく2階での行事に参加する場合は、急な階段を上る必要があり、高齢者や障害者、妊婦や小さな子ども連れの方には、利用しづらい状況です。



1階開架スペース



階段

### ⑤ にぎわいと静けさのゾーニングが課題

利用者同士の会話や子どもたちの声を気にせず過ごせる「にぎわいの空間」と、静かな環境で本を読みたい利用者のための「静けさの空間」とのゾーニングができていないため、音の問題は重要な課題となっています。

## (3) サービス

### ① 蔵書資料の確保

資料には、基本資料（ロングセラー本など）や郷土資料など保存を必要とする資料があります。一方、実用書や専門書（法律関係、健康本、旅行書な

ど)は、法改正や社会情勢の変化とともに資料的価値が無くなり、買い替えを必要とします。

一方、インターネットが普及し図書館の必要性を感じない人もいます。しかし、図書館を介してしか入手できない「国立国会デジタル化資料」や大学のデジタルアーカイブも多く存在します。関係機関との連携を図り、このような資料の存在を広くPRしていく必要があります。

## ② 図書館が遠い利用者へのサービスの不足（距離・時間・手段など）

市域が広大であり、図書館までの距離や開館時間、来館手段などが課題となっています。図書館から遠い地域へのサービスは、運営面で補う必要があります。また、開館時間の延長や交通アクセスなど利便性の良い場所への移転を検討する必要があります。

## ③ 専門職員の不足

現在の人員配置は、正職員2人と嘱託職員3人の5人体制で、司書の資格を有する者は4人となっています。しかし、正職員の司書は1人であり、高度・多様化する市民からの相談に十分に対応できる体制ではない状況です。

## II 新たな図書館の目指すもの（基本理念）

図書館は、「資料」と「場」<sup>※1</sup>との両方を提供することができる施設です。現在の綾部市図書館は「資料の提供」（＝貸出）を中心に、ソフト面を重視したサービスを行ってきました。しかし、新たな図書館を整備することで、「場の提供」をプラスしたサービスを実現することができます。

だれもが、いつでも気軽に利用でき、人が集まり、人と本とがつながり、人と人がつながり、様々な課題を解決でき、何よりも暮らしを高めることができる図書館を目指すため、

- 1 だれもが親しみ、気軽に利用できる図書館
- 2 多様化する資料要求に応える図書館
- 3 児童サービスの充実した図書館

の3つを新たな図書館の基本理念とします。

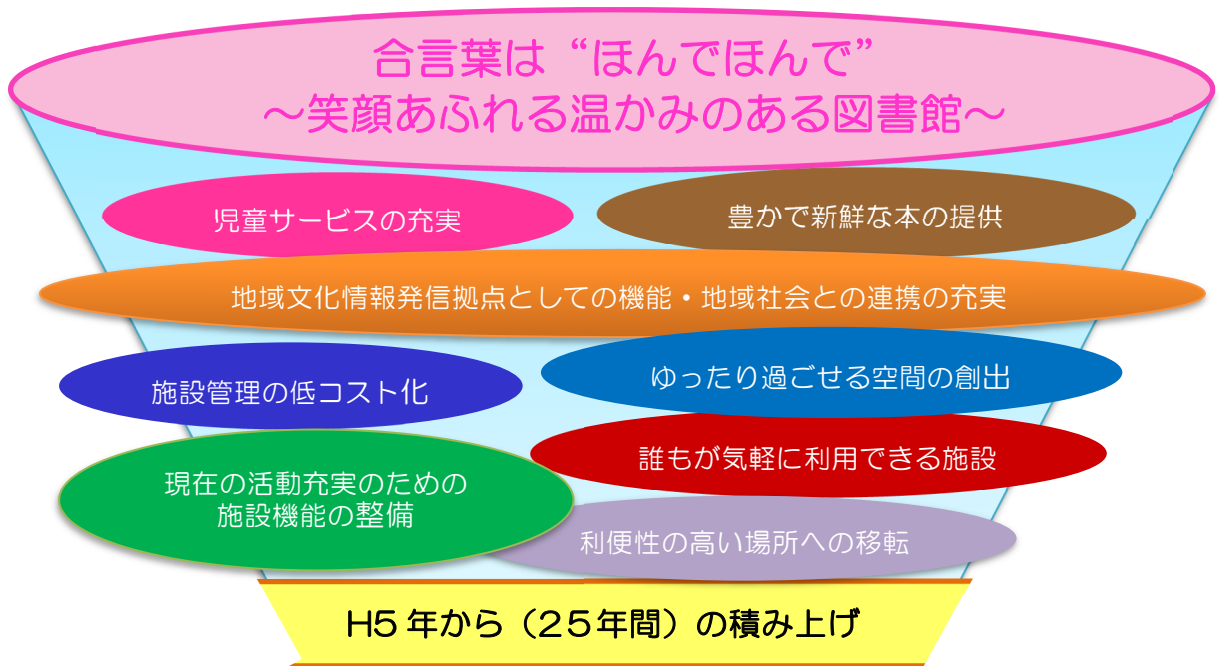
この基本理念の実現に向けて、図書館の合言葉は“ほんでほんで”<sup>※2</sup>とし、「笑顔あふれる温かみのある図書館」の運営に努めます。

※1 「場」とは、個々で調査研究、精読する「静か」な空間と、本を通しての談笑やボランティア・各世代の集い、親子で過ごせる「にぎやか」な空間など、利用者が様々な活動を行える場所を指します。

※2 「ほんでほんで」とは、綾部では「それで？」という意味で「ほんで」という方言を使います。その方言の「ほんで」と本（BOOK）の「ほん」を掛け合わせてつくった言葉です。ホームページ、読書手帳、図書館通信などのキャッチフレーズとして長年利用者に愛され親しまれてきました。

「ほんでほんで」と人が集まり、「ほんでほんで」と人と本とがつながり、「ほんでほんで」と人と人がつながっていきます。

この温かみのある「ほんでほんで」を合言葉にします。



### **Ⅲ 新たな図書館整備の基本方針**

現状と課題を踏まえ、新たな図書館の「基本理念」にそった整備の方針は、次の5つとします。

#### **1 だれもが集まりやすい利便性の高い図書館（場所）**

- 交通アクセスが良く、分かりやすい場所
- だれもが利用しやすく、公共・商業施設などが隣接し交流できる場所
- 駐車場・駐輪場が確保できる場所

#### **2 一人ひとりの思いを大切にする場としての図書館（施設）**

- 明るく開放的な環境
- 様々な世代の学びのスペースの確保
- 子どものスペースの確保
- 交流や飲食のできるフリースペースの確保
- バリアフリー、ユニバーサルデザインへの対応
- インターネット・Wi-Fiが使える環境

#### **3 利用者の様々な活動を支援する図書館（サービス）**

- 貸出・レファレンスの充実
- 各種イベントなどの充実
- ボランティアの育成と連携
- 多様な創作・文化活動の支援
- 学校や関係機関との連携・支援
- 専門職員(司書)の確保

#### **4 豊かで新鮮な本があふれる図書館（資料）**

- 求められる資料を提供できる豊かな資料群
- 新鮮な資料の充実
- 地域の歴史、文化、産業、観光など、様々な分野の地域資料の収集
- 安定した資料費の確保

#### **5 綾部の魅力や地域文化の情報発信拠点としての図書館（情報発信）**

- 地域に密着した郷土資料コーナーの設置
- 地域の歴史、文化、産業、観光など、様々な分野の地域情報の発信
- 市民の暮らしに密着した情報の発信
- ふるさとの良さを実感できる場の提供

## IV 新たな図書館整備の計画

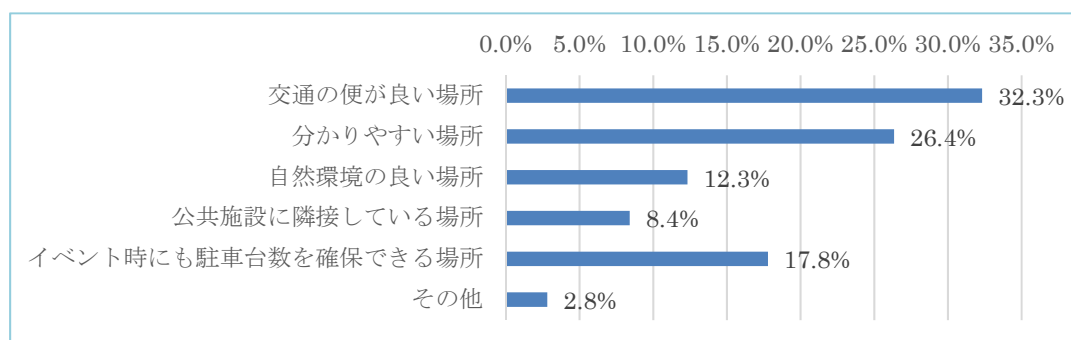
### 1 施設計画

#### (1) 施設立地規模など

- ① 立地 JR綾部駅北側の北部産業創造センター隣接地とする
- ② 延床面積 約1,200㎡を目指す
- ③ 構造 2階建てを基本とする
- ④ 駐車場 50台以上を確保する

アンケート中、立地の条件については、「交通の便の良い場所」「分かりやすい場所」「イベント時にも駐車場台数を確保できる場所」の回答が多くなっています。

問10 立地の条件について n=5178 (複数回答)



立地については、「JR綾部駅北側の北部産業創造センター隣接地」は、生活動線や綾部全域からの利便性を考えると、駅前で分かりやすく気軽に立ち寄り適切な場所と考えます。

面積については、課題である「各機能のスペース不足」などを解消し、一定程度の施設規模を確保する必要があります。具体的には、綾部市の今後の人口動向や財政状況等を十分に考慮するとともに、蔵書規模も勘案し、現図書館の約2倍の面積を確保し、約1,200㎡とします。

また、建物の構造は、管理コストなどにも配慮し、2階建てを基本とした階層とします。

駐車場については、滞在型図書館としての需要やイベント開催時の状況も踏まえ、50台以上の確保が必要です。



## (2) 北部産業創造センターとの連携

北部産業創造センター<sup>※</sup>には、市民が自由に仕事、自習、ミーティングができるフリースペースや、音響設備完備、机席で120名収容の綾部市ものづくり交流館があります。市民の学びや交流を推進するために、隣接するこの施設の機能を有効に活用することが望まれます。

さらに、市民の「ものづくり」の発展に寄与することを目的に、各分野にわたり、子どもから大人までを対象とした基本書から専門書までの「ものづくり」関連資料の充実により、北部産業創造センターとの連携が深まることに期待します。

※ 北部産業創造センターとは、グンゼ株式会社の協力により、京都府・綾部市・京都工芸繊維大学の共同運営による産学公連携拠点として、北部ものづくり企業の成長発展、次代を担う新産業の創出等を目指して平成30年4月に開設した施設です。

## (3) 蔵書冊数

**総数 約120,000冊**

- ・うち開架冊数 約80,000冊
- ・うち開架書庫冊数 約30,000冊
- ・うち閉架書庫冊数 約10,000冊

豊かで新鮮な本があふれる図書館を目指し、蔵書内容の充実を図る必要があります。

新たな図書館での蔵書冊数は、市民1人当たり蔵書冊数を現在の1.5倍程度とし、約120,000冊を目指します。

また、要望の多い分野の本や雑誌タイトルの充実、新鮮な資料群の構築に努め、市民の暮らしや自己啓発、課題解決に必要な資料、子どもの多様な興

味や知的好奇心に対応した幅広い範囲の資料を充実するとともに、法改正や社会情勢の変化に対応するために、貸出頻度の落ちた蔵書の除架・除籍を行い、できる限り新鮮な資料群の構築に努める必要があります。

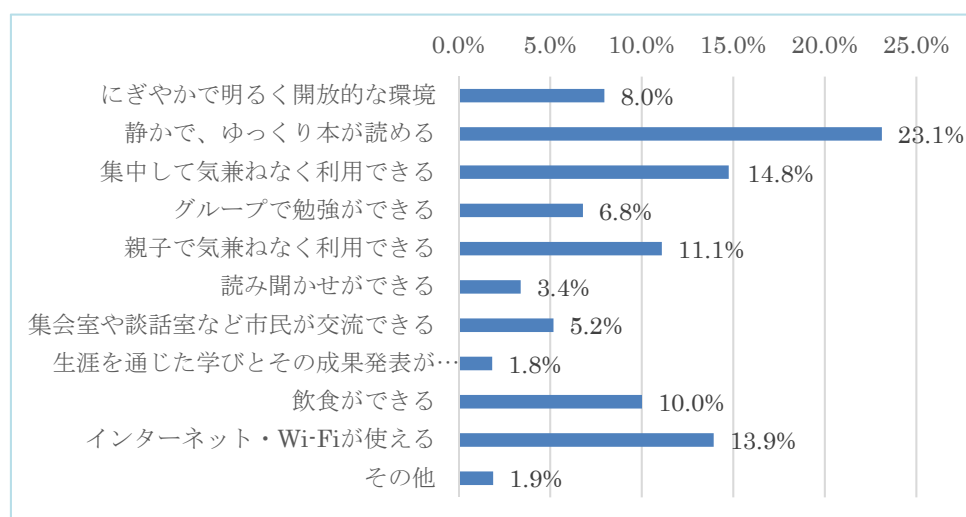
#### (4) 施設機能

新たな図書館には「わくわくする」ようなイメージを求めます。

だれもが親しみ、気軽に利用できる図書館を実現するために、不足している各種スペースを確保するとともに、「にぎわい」と「静けさ」のゾーニング、屋外には遊び場などリフレッシュできる空間が必要です。

アンケートにおいては、「新たな図書館に望むこと」として「静かに、ゆっくりと本が読める」「集中して気兼ねなく利用できる」とともに「インターネット・Wi-Fiが使える」「親子で気兼ねなく利用できる」という回答もあり、機能面での工夫が必要です。

問7 新たな図書館ではどのようなことを望まれますか。n=7656（複数回答）



具体的な必要スペースと機能について、次のとおりとします。

## ① 学びのスペース

- ア 一般書コーナー
  - イ 雑誌コーナー
  - ウ 閲覧席コーナー
  - エ 調べものコーナー
  - オ 新聞コーナー
  - カ 郷土資料コーナー（見て・触れて・体験できる）
  - キ 視聴覚機能
- など

豊かで新鮮な本を多くの利用者が手に取れるよう、広い一般書コーナーが必要です。また、だれもが使いやすい各コーナーとするため、書架の高さや形状については、十分に検討し、それぞれのスペースにあったイスと机を用意することを提案します。

## ② 子どものスペース

- ア 児童図書コーナー
  - イ 絵本コーナー
  - ウ 読み聞かせの部屋
  - エ 授乳室
- など

児童書コーナーや絵本コーナーを充実し、読み聞かせの部屋を設け、親子で気兼ねなくゆったり過ごせるスペースが必要です。また、乳幼児を連れた利用者が安心して図書館を利用できるよう、授

乳やおむつ替えができるコーナーや子どもが騒いだ時に避難できる場所（例えばテラスなど）の設置を検討することを提案します。

### ③ つながりのスペース

- ア 子どもから大人まで利用できる図書コーナー
- イ ものづくりコーナー
- など

従来は、配架について一般書、児童書、ヤングアダルト等年齢に合わせる事が多く、本が利用者の対象を決めてしまう傾向にあります。本の使い方は年齢で決められるものではありません。利用者の意思で、本を手にとることができるように、つながりのスペースや「ものづくり」に関するコーナーの設置を提案します。

### ④ 交流のスペース

- ア 談話室、交流コーナー
- イ くつろぎコーナー
- ウ 飲食コーナー
- エ 集会室機能(小ホール機能含む)
- オ 市民ギャラリー機能
- など

くつろぎコーナーや、本を介して利用者が談話や交流ができるコーナー、気軽に待ち合わせができるようなフリースペースが必要です。また、市民の創作活動や発表展示の場として、集会室や市民ギャラリー機能が望まれます。なお、飲食については熱中症対策や滞在型図書館としての機能も考慮しながら、運営面での検討を提案します。

## ⑤ 情報検索・レファレンス（調査研究）のスペース

- ア インターネット端末コーナー
  - イ レファレンスコーナー
  - ウ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスコーナー
- など

自由にインターネット利用ができるとともに、気軽に課題解決のための相談ができるスペースとして、カウンターにレファレンス専用のコーナーの設置を提案します。

## ⑥ 展示のスペース

- ア 新着図書展示コーナー
  - イ 特集本コーナー
  - ウ おりがみ通信コーナー
  - エ 地域情報コーナー
- など

本への関心を高めるために各図書の展示コーナーや「おりがみ通信」「地域情報」など綾部らしさをPRできるコーナーの設置を提案します。

## ⑦ 防音のスペース

- ア 対面朗読室機能
  - イ 代読室機能
  - ウ 静寂読書室機能
  - エ グループ学習室機能
- など

「静かに、ゆっくり本が読める」「集中して気兼ねなく利用できる」ように、また、障害者や高齢者等のサービス充実のために、防音など

各種機能を備えた部屋の設置が必要です。多目的な用途で誰もが利用できるように運営面での検討を提案します。

## ⑧ 地域支援のスペース

ア ボランティア支援室機能

イ 学校支援室機能

ウ 作業室機能

など

ボランティアや学校、関係機関との連携・支援、行事の準備や本の修繕などの作業室としても多目的に使用できる部屋の設置を提案します。

## ⑨ 書庫のスペース

ア 開架書庫

イ 閉架書庫

など

多様な市民ニーズに応えるために、開架書庫と閉架書庫の設置を提案します。

## ⑩ 管理等のスペース

ア 事務室

イ スタッフルーム

ウ 収納スペース

エ 清掃道具室

オ 搬入口

など

働きやすい環境づくりのためスタッフルームの確保や収納スペース等の設置を提案します。

## ⑪ その他のスペース

ア インターネット・Wi-Fi環境

イ 読書手帳端末

ウ 自動貸出機（OPAC機能使用）

エ その他

- ・多機能トイレ
- ・エレベーター
- ・バリアフリー（スロープ・点字ブロックなど）
- ・返却ポスト
- ・給湯室
- ・公衆電話

など

インターネット・Wi-Fi環境、閲覧机等にコンセントの設置や、だれにも優しい環境を提供するため、館内に手すりや使いやすいトイレの設置などバリアフリーやユニバーサルデザインを提案します。

## 2 館内環境など

だれもが気軽にゆったりと過ごせる図書館の実現のためには、館内の環境や分かりやすいサイン、安全性の確保などに配慮する必要があります。

### (1) 館内環境

- ① 光環境
- ② 温湿度環境
- ③ 音環境
- ④ 臭い環境

人と自然にやさしい施設として自然採光を有効に活用するなど、自然エネルギーの導入を検討するとともに、だれもが快適と感じられる温湿度に配慮することが必要です。また、「にぎわいの空間」と「静けさの空間」のゾーニングを必要とする音の課題、様々な臭い（異臭、香臭など）についても検討することが必要です。

### (2) サイン計画

利用者をも的確に図書館サービスに導くためのサインは、図書館の使いやすさを左右する重要な要素です。絵や文字を組み合わせ、見やすく、分かりやすく、図書館としての統一感を持ったサインを計画することが必要です。

また、駐車場・駐輪場・駅からのアプローチなどがわかりやすいアクセシビリティを意識したサインを提案します。

### (3) 維持管理

- ① ライフサイクルマネジメント
- ② 長寿命で維持管理しやすいこと
- ③ 省エネルギー化



将来の図書館サービスの変化が予想される中、建設にかかるコストだけでなく、ランニングコストも考え、固定したスペースや壁や柱等を最低限に抑えた柔軟な使い方ができる構造にすることを提案します。

また、日常の清掃や点検が簡易であり、書架や壁面、ガラス等が維持管理しやすく、太陽光を有効活用するなど、省エネルギー化にも配慮することが必要です。

#### **(4) 安全性確保**

- ① ユニバーサルデザイン
- ② 安全安心な環境

利用者全てを対象とした安全性を考え、ユニバーサルデザインを取り入れるとともに、想定されるトラブルに対応するため、職員の巡視や利用者同士の良好な関係をつくりあげることや、セキュリティ機能としてICタグや防犯カメラ設置の検討を提案します。

### **3 管理運営**

図書館に求められるサービスは、高度・多様化しています。市民ニーズに応えるためには、効果的かつ効率的な運営が必要です。職員体制や開館時間、休館日について検討することを提案します。

#### **(1) 職員体制**

現状：5人体制 正職員（2人 司書兼館長、主任）、  
嘱託職員（3人 司書、週29時間）

基本方針では、「貸出・レファレンスの充実」「ボランティアの育成と連携」や「学校や関係機関との連携・支援」などの充実を掲げています。そのためには、質の高い図書館サービスを提供できるように専門的な知識を持ったス

スタッフ（司書）を継続的に配置するとともに、施設規模や運営内容に対応できる体制づくりが必要です。

## （２）開館時間

現状：午前9時30分から午後6時まで

立地条件や市民の活動の拠点としての役割、新たなサービスの展開等に配慮し、管理コストや職員体制など費用対効果を勘案しながら開館時間を検討することを提案します。

## （３）休館日

現状：①月曜日及び毎月の最終火曜日

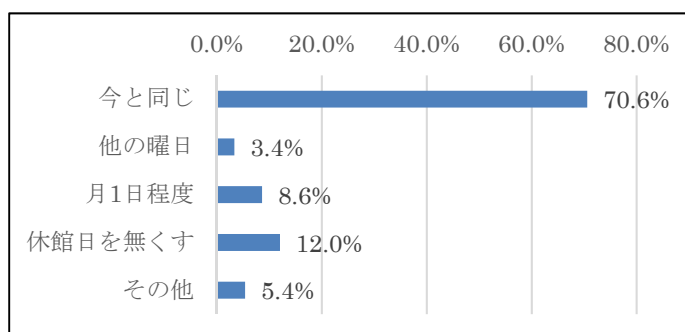
②国民の祝日に関する法律に規定する休日

③1月1日から同月4日まで及び

12月28日から同月31日まで

アンケートの中で、休館日の質問では「今と同じ」が70.6%と大半を占めており、当面は現状の休館日とします。

問9 休館日は次のうちどれがよいとお考えですか。n=2834



## おわりに

「図書館」の3つの要素は、「資料」「職員」「施設」です。この3つのうち、どれが欠けても図書館のサービスは円滑に運営できません。「図書館」とは、単に建物のみを指すのではなく、市民と市民の必要とする資料とを結びつける組織や働きのことを言います。新たな綾部市図書館が十分なサービス機能を発揮するためには、豊かで新鮮な資料群と優れた専門職員に加え、施設機能の充実が必要不可欠な要素となります。

新たな綾部市図書館の整備に当たっては、厳しい財政状況ではありますが、本報告書の検討内容を十分に反映していただき、市制施行70周年に向けて、世代を超えた多くの市民が交流できる「市民関連施設」として、綾部市図書館の創設にゆかりのあるグンゼと連携しながら、市民ニーズに応える図書館の建設が進められることを提案します。

そして、「“ほんでほんで”と笑顔あふれる温かみのある図書館」を合言葉に、市民の皆様信頼され、末永く愛される図書館としてさらに充実、発展されることを期待しています。

# V 資料

- 1 新たな綾部市図書館整備検討委員会設置要綱
- 2 新たな綾部市図書館整備検討委員会名簿
- 3 新たな綾部市図書館整備検討委員会開催経過
- 4 新たな図書館整備に関するアンケート結果
- 5 「図書館への来館者数の予測」についての資料

## 1 新たな綾部市図書館整備検討委員会設置要綱

### (設置)

第1条 市民に親しまれる新たな図書館の整備に関し意見を聴くため、新たな綾部市図書館整備検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (業務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 新たな綾部市図書館整備に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、図書館整備について必要な事項に関すること。

### (組織)

第3条 委員会は20人以内とし、次に掲げる者のうちから市長が委嘱又は任命する。

- (1) 綾部市図書館協議会委員
- (2) 学識経験者
- (3) その他市長が必要と認める者

2 委員会には、アドバイザー及びオブザーバーを置くことができる。

### (任期)

第4条 委員の任期は、平成30年6月29日から第2条の業務の完了までとする。

### (座長及び副座長)

第5条 委員会に座長及び副座長を置く。

- 2 座長は委員の互選により定め、副座長は座長の指名により定める。
- 3 座長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故のあるときはその職務を代理する。
- 5 座長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めることができる。

### (運営)

第6条 座長は、委員会を招集し、会議の議長を務める。

### (庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会社会教育課において処理する。

### (補足)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、別に定める。

## 附 則

この要綱は、平成30年6月29日から施行する。

## 2 新たな綾部市図書館整備検討委員会名簿

役 職	氏 名	備 考
座 長	山 崎 清 吾	綾部市副市長
副座長	大 槻 富美雄	図書館協議会委員（学識経験者）
委 員	石 川 し の ぶ	図書館協議会委員（学識経験者）
委 員	石 角 忠 俊	図書館協議会委員（綾部市公民館連絡協議会）
委 員	入 澤 久美子	図書館協議会委員（学識経験者）
委 員	梅 原 静 代	図書館協議会委員（学識経験者）
委 員	川 端 勇 夫	綾部市自治会連合会会長（学識経験者）
委 員	川 本 秀 昭	グンゼ(株)綾部本社総務課長（学識経験者）
委 員	木 村 茂	図書館協議会委員（綾部市中学校長会）
委 員	塩 見 勝 美	綾部商工会議所専務理事（学識経験者）
委 員	四 方 智 明	図書館協議会委員（綾部市小学校長会）
委 員	高 橋 秀 文	綾部市民生児童委員協議会会長（学識経験者）
委 員	引 原 裕 喜	図書館協議会委員（学識経験者）
委 員	松 井 浩	図書館協議会委員（中学校PTA）
委 員	松 田 久 美	図書館協議会委員（学識経験者）
委 員	山 口 富士子	図書館協議会委員（綾部市文化協会）
委 員	由 良 耕 士	図書館協議会委員（綾部市小学校PTA）

アドバイザー	中 井 孝 幸	愛知工業大学工学部教授
オブザーバー	加 納 俊 章	グンゼ開発(株)取締役部長

事務局	岡 垣 美 樹	綾部市教育委員会教育部長
事務局	安 村 和 洋	社会教育課主査
事務局	塩 見 勲 生	社会教育課長
事務局	生 駒 彩 子	社会教育課主幹・図書館長
事務局	後 藤 裕 美	図書館担当主任

<中井孝幸教授の略歴>

日本図書館協会施設委員会委員、「図書館による町村ルネサンスLプラン21：21世紀の町村図書館振興をめざす政策提言」日本図書館協会町村図書館活動推進委員会委員。「瀬戸内市民図書館もみわ広場」審査委員等。第25回(2009年)・第26回(2010年)・第31回(2015年)・第32回(2016年)日本図書館協会建築賞審査委員。

### 3 新たな綾部市図書館整備検討委員会開催経過

項目	月日・場所	主な内容
第1回	平成30年6月29日 市役所第1委員会室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな綾部市図書館整備検討委員会趣旨説明</li> <li>・座長及び副座長の選出</li> <li>・新たな図書館整備に関するアンケート結果報告</li> <li>・新たな綾部市図書館整備の概要(案)の協議</li> </ul>
第2回	平成30年8月31日 綾部市ものづくり交流館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな綾部市図書館整備検討(案)の協議</li> <li>・先進図書館をモデルとした施設機能と館内環境 (中井孝幸アドバイザーによるレクチャー)</li> </ul>
第3回	平成30年10月5日 市役所第1委員会室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな綾部市図書館整備検討(案)についてグループ討議</li> </ul>
第4回	平成30年11月19日 綾部市ものづくり交流館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな綾部市図書館整備検討報告書(案)の決定</li> </ul>

※検討委員会はすべて公開で開催しました。

<検討委員会の様子>



第1回



第2回

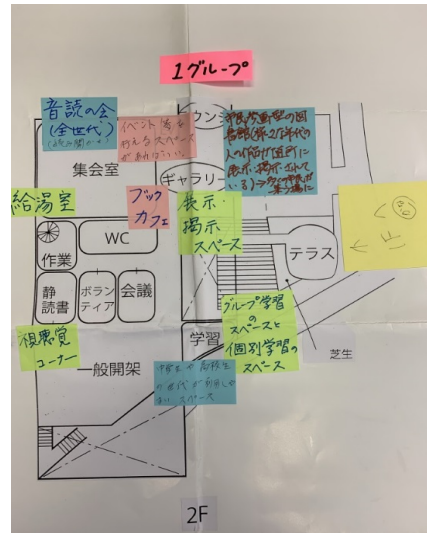
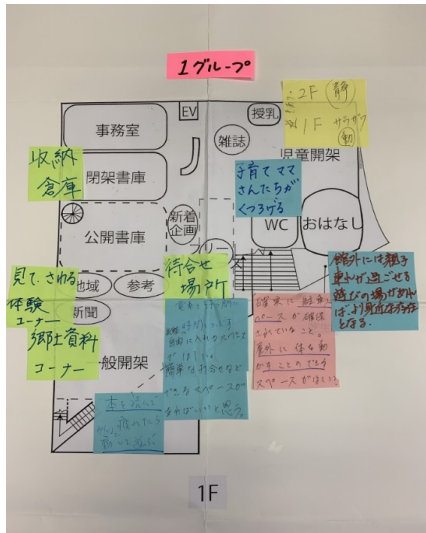


第3回

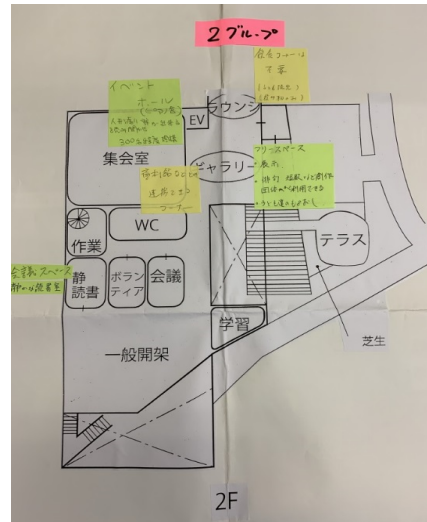
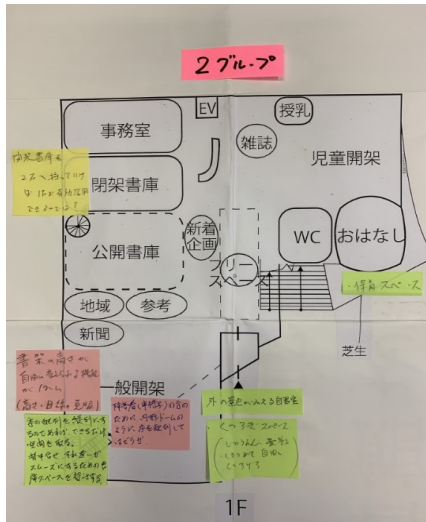


第4回

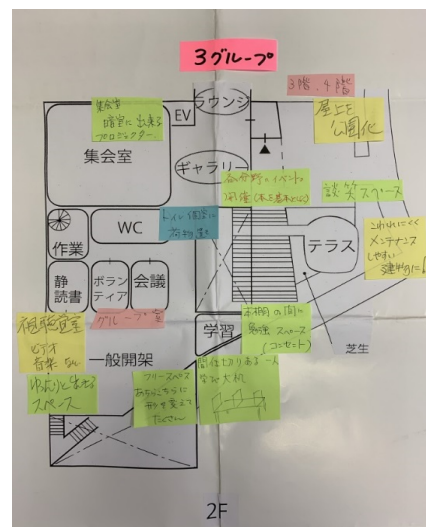
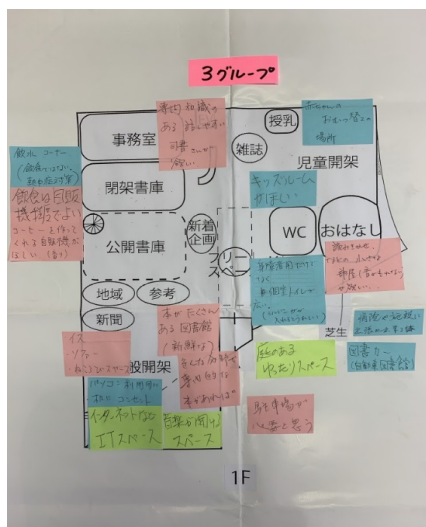
< 第3回グループ討議発表内容 >



1 グループ



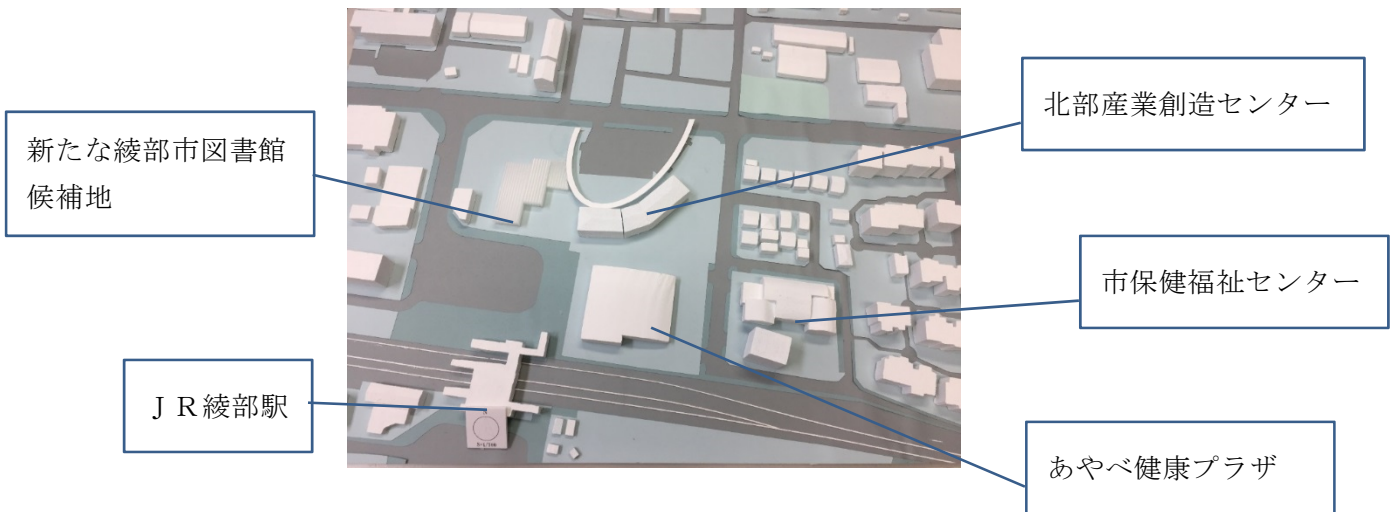
2 グループ



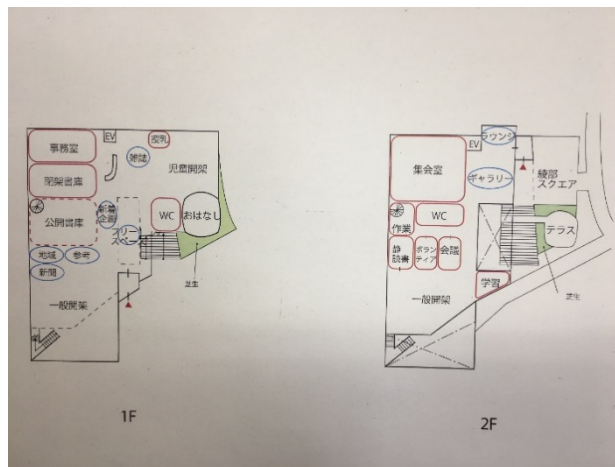
3 グループ



<愛知工業大学中井研究室提供 候補地周辺模型>



<愛知工業大学中井研究室提供 参考平面図>



## 4 新たな図書館整備に関するアンケート結果

(目的)

これからの図書館に必要なサービスや期待される設備・機能等について広く市民のご意見を把握し、結果を新たな図書館検討のための参考資料とすることを目的とする。

(期間)

平成30年4月から約1か月の間

(対象)

どなたでも（市外の方を含む）。

(実施場所)

市内全域の公共施設を中心に54か所にアンケート用紙と回収箱を設置し、綾部市公式ホームページや図書館のホームページにも掲載。

- ・ 図書館
- ・ 市内小・中学校
- ・ 天文館パオ
- ・ 中央公民館
- ・ 市民ホール
- ・ あやべ特産館
- ・ I・Tビル
- ・ 福祉ホール
- ・ 保健福祉センター
- ・ なかすじ児童センター
- ・ 物部児童館
- ・ 林業センター
- ・ 里山交流研修センター
- ・ 綾部ふれあい牧場
- ・ ハートセンター（あやべボランティア総合センター）
- ・ 市役所
- ・ 綾部高等学校
- ・ 資料館
- ・ 各地区公民館
- ・ 市立病院
- ・ FMいかる
- ・ 清山荘
- ・ 上林いきいきセンター
- ・ あやべ健康プラザ（水夢）
- ・ 宮代コミュニティーセンター
- ・ あやべ観光案内所
- ・ あやべ温泉二王館
- ・ 北部産業創造センター
- ・ 黒谷和紙工芸の里

(回収結果)

3,054人の方から回答



**2. 利用している方も、利用していない方も、新しい図書館についてお聞かせください。**

**問 6** 新たな図書館ではどのようなことがしたいですか。 (〇はいくつでも)

- ①本を借りる                      ②本を読む                      ③雑誌・新聞を見る                      ④時間つぶしにつかう  
⑤待ち合せにつかう                      ⑥調べ物をする                      ⑦書斎のかわりにする                      ⑧席をかりる  
⑨一日過ごす                      ⑩パソコンを使う                      ⑪勉強をする                      ⑫読書会やサロンをひらく  
⑬趣味の展示をする                      ⑭イベントに参加、又は主催する                      ⑮その他 (                      )

**問 7** 新たな図書館ではどのようなことを望まれますか。 (〇はいくつでも)

- ①にぎやかで明るく開放的な環境                      ②静かで、ゆっくり本が読める  
③集中して調べもの・勉強ができる                      ④グループで勉強ができる  
⑤親子で気兼ねなく利用できる                      ⑥読み聞かせができる  
⑦集会室や談話室など市民が交流できる                      ⑧生涯を通じた学びとその成果の発表ができる  
⑨飲食ができる                      ⑩インターネット・wi-fi が使える  
⑪その他 (                      )

**問 8** 新たな図書館にあなたが充実してほしい本ほどの分野ですか。 (〇はいくつでも)

- ①小説                      ②歴史書                      ③旅行書                      ④ビジネス                      ⑤介護・福祉  
⑥健康書                      ⑦科学                      ⑧ものづくり                      ⑨育児・家事                      ⑩農業・園芸  
⑪芸術                      ⑫スポーツ                      ⑬語学                      ⑭児童書・絵本                      ⑮視聴覚資料  
⑯辞書・辞典                      ⑰大きな文字の本                      ⑱綾部市に関する資料                      ⑲雑誌・新聞                      ⑳マンガ  
㉑その他 (                      )

**問 9** 休館日は次のうちどれがよいとお考えですか。 (〇はひとつ)

(※現在は、月曜日・国民の祝日・毎月最終の火曜日・年末年始)

- ①今と同じ                      ②他の曜日 (                      曜日)                      ③月1日程度  
④休館日を無くす                      ⑤その他 (                      )

**問 10** 立地の条件について、どのような場所に図書館があればよいと思いますか。 (〇はいくつでも)

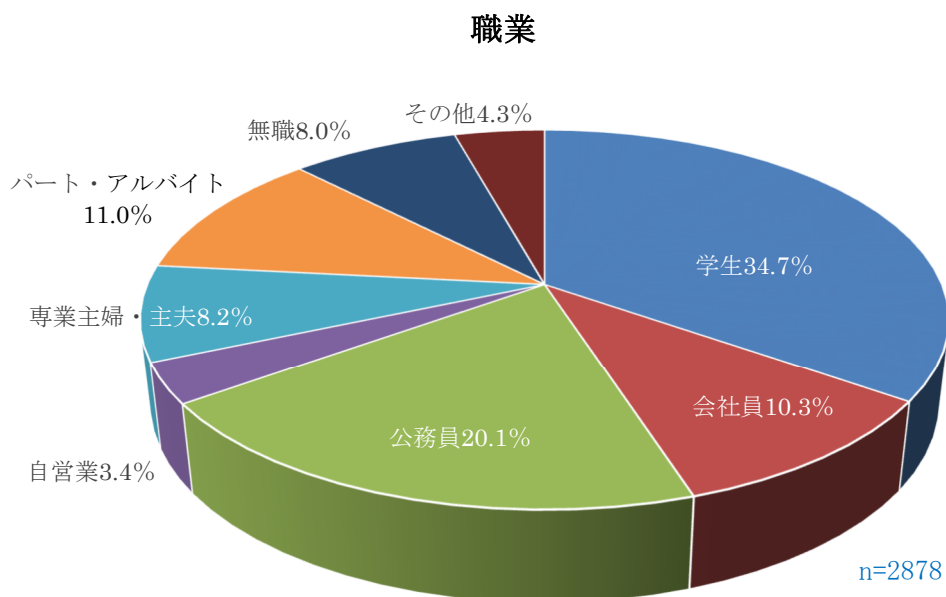
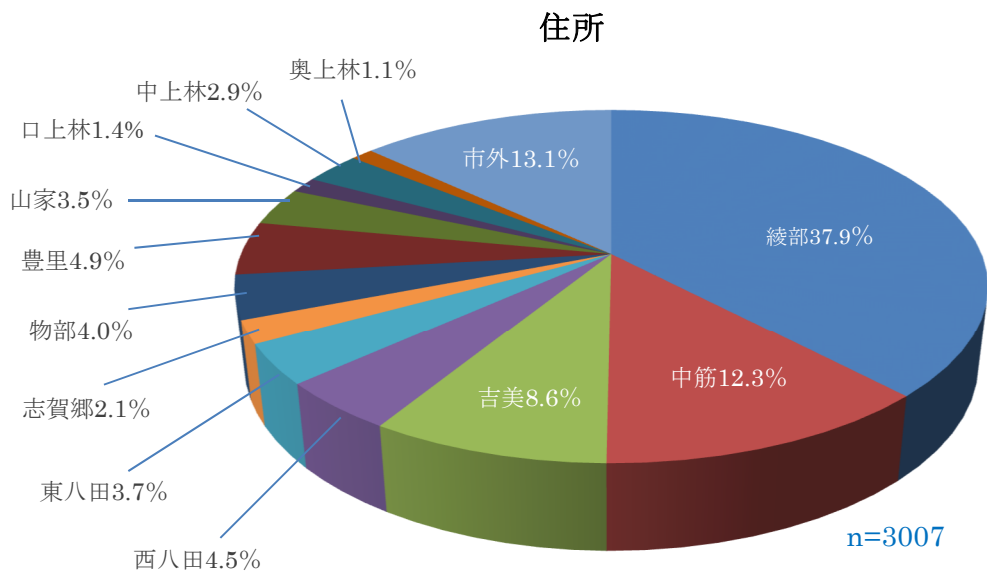
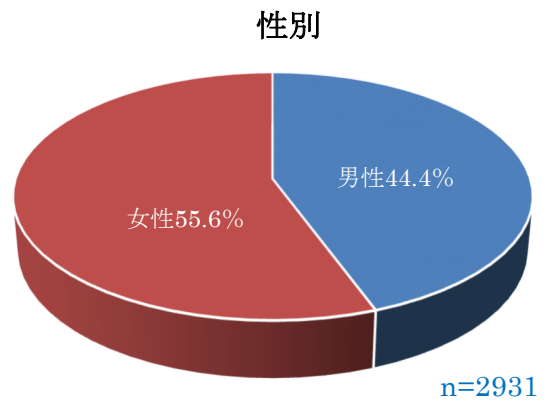
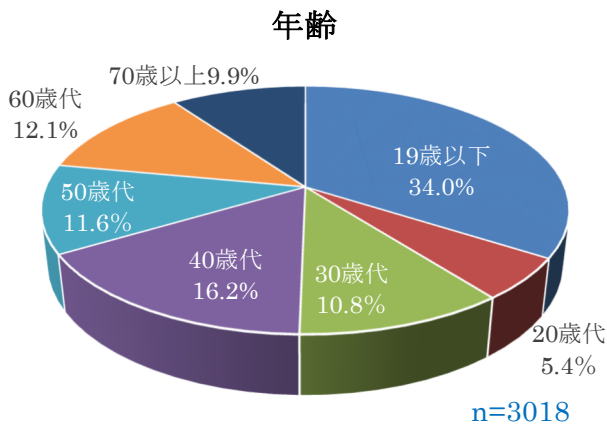
- ①交通の便がよい場所                      ②分かりやすい場所                      ③自然環境のよい場所  
④公共施設に隣接している場所                      ⑤イベント時にも駐車台数を確保できる場所  
⑥その他 (                      )

**問 11** その他、新たな図書館についてご意見があれば自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

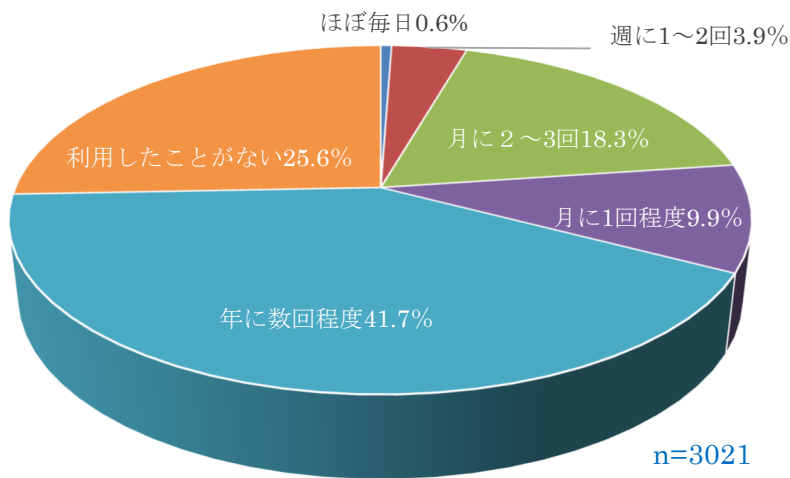
問い合わせ先：綾部市図書館（電話 42-6980 FAX 42-4570 〒623-0022 綾部市新宮町 91）

## ■回答者の「属性」について

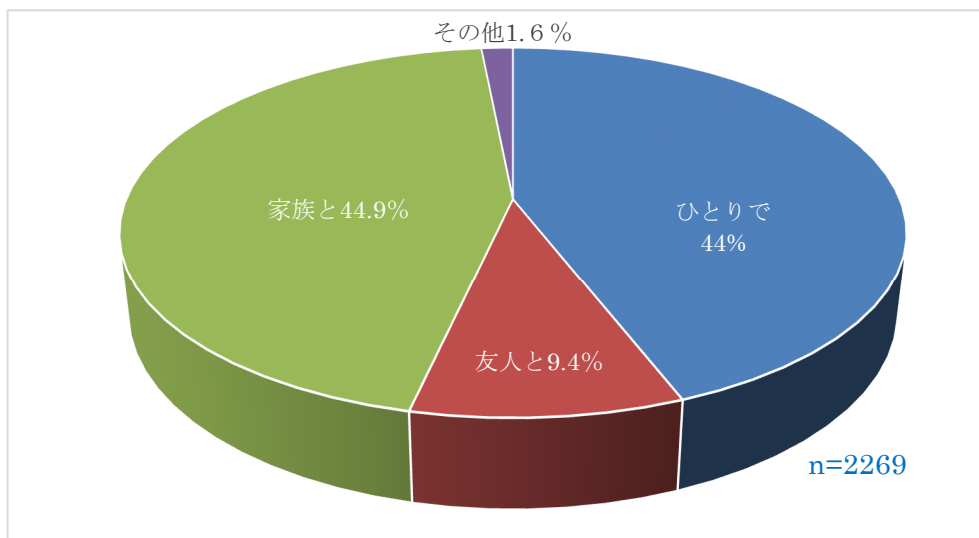


■問 1～問 5、現在の図書館利用について

問 1 あなたは図書館をどのくらいの頻度で利用していますか。

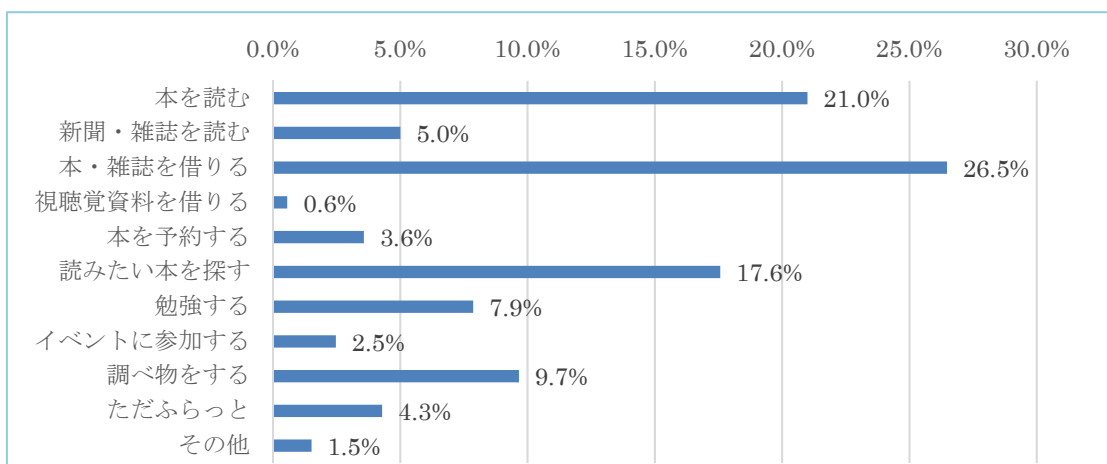


問 2 あなたは主に誰と図書館を利用していますか。

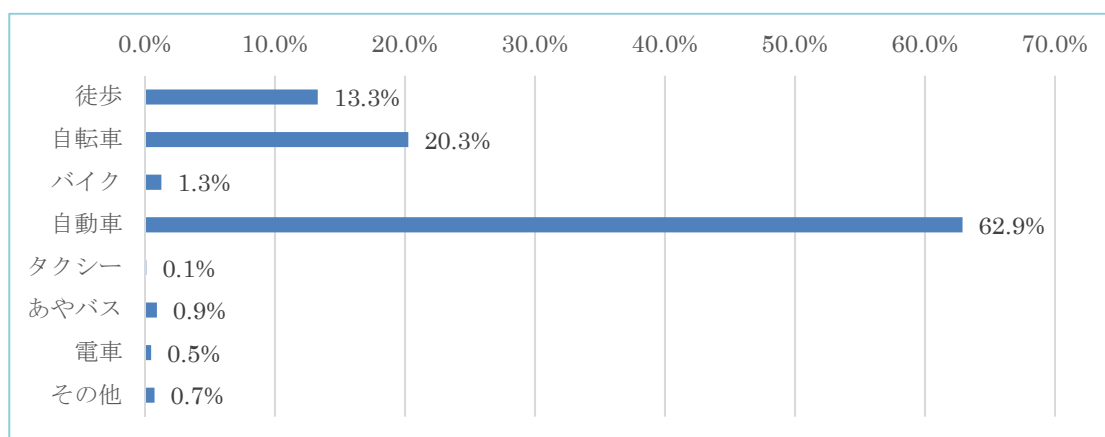


問 3 あなたが図書館を利用する目的はなんですか。

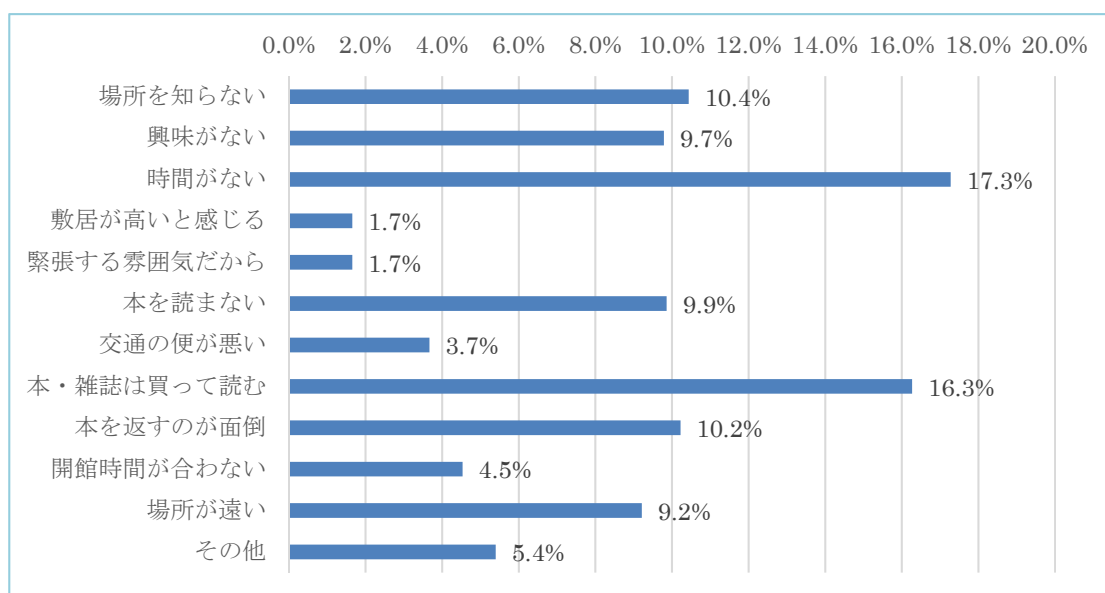
n=4616 (複数回答)



問4 どのような交通手段で図書館に来られていますか。 n=2684 (複数回答)



問5 図書館を利用されない理由は何ですか。 n=685 (複数回答)



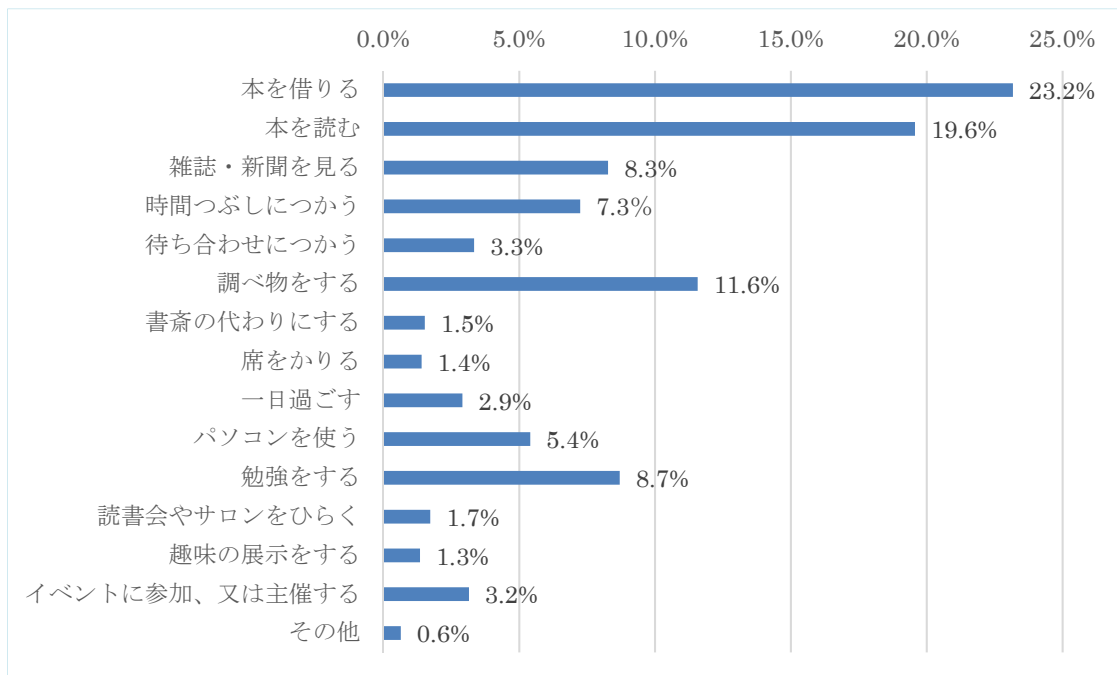
**その他の主な回答内容**

- ・場所は知っていたが、車がなくて残念とは思いつつ行けなかった。
- ・車で行きにくい。
- ・駐車場が少ない。
- ・調べ物はインターネットを使う。
- ・通勤の都合で利用しにくかった。
- ・図書館が小さい、本が少ないイメージ。
- ・インターネット・マンガ喫茶の方が気軽。又は、枚方市にある t-site みたいなものがよい。
- ・妻の介護生活の為に行けない、長時間外に出れない。
- ・よく利用していたが、目が不自由になり利用しなくなった。
- ・子どもが小さい時期は利用していたが、成長したため自分では利用しなくなった。
- ・子どもが破いたりしそう。
- ・学校の図書室で充分だから。
- ・生活スタイルの中に図書館を利用することがない。
- ・地元の図書館を利用。

## ■問6～問10、新しい図書館について

問6 新たな図書館ではどのようなことがしたいですか。

n=8379 (複数回答)

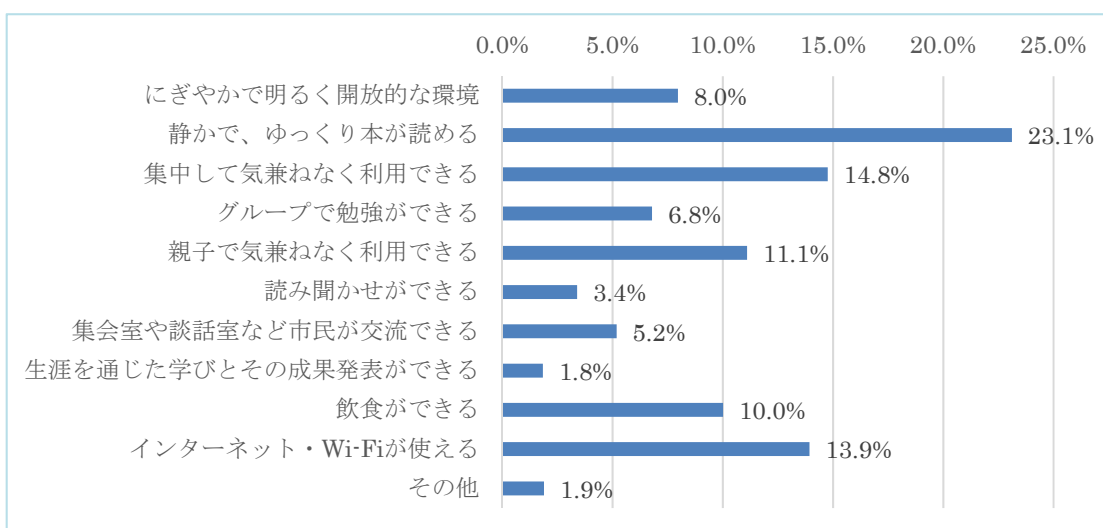


### その他の主な回答内容

- ・雨の日に子どもと過ごせる環境。
- ・絵を描いたり作業するアトリエ希望。
- ・カフェ利用軽食持ち込み（家族・子連れ）。
- ・パソコンのキーボード音は耳障りなので、別室か仕切り設置を希望。
- ・気軽に楽しく出入り出来る場であれば、引きこもり・精神知的障害の方にも有効な所となり、素晴らしい綾部につながると思う。
- ・画像の情報が見れば利用する（英語、科学の講座など）。
- ・いつでも気楽に服装も気にせずに。
- ・会議室として使用。
- ・本の読書会。
- ・仕事場として。
- ・市役所か市民センター内に作ったら使うかもしれない。
- ・快適な温度でゆっくりしたい。
- ・DVDで音楽（ヘッドホンなどで）を聴きながら本を読みたい。
- ・朗読、朗読ボランティアをやっているの、そのボランティアの育成講座等出来る部屋や、発表のホールがあると嬉しい。朗読コンサートやクリスマス会、人形劇の出来るホール。



問7 新たな図書館ではどのようなことを望まれますか。 n=7656 (複数回答)



その他の主な回答内容

【機能】

- ・十分な駐車場がある。
- ・緑豊かで明るく開放的な、大学的なイメージ、外の光が入る。
- ・待ち合わせのついでにトレンドな情報を気軽にキャッチできるような情報発信の場。
- ・落ちつける内装。
- ・各机にコンセント（電源）。
- ・蔵書が充実している。

【スペース】

- ・にぎやかでなくて良いので、明るく開放的な環境。
- ・半個室になった個人の勉強スペースがほしい。壁で区切られているスペース。
- ・建物の外でも本が読めると良いと思う。
- ・現在のテーブル席が狭いので、ゆったりと図書館でそれぞれの時間を楽しむ場所になればと期待する。
- ・グループで勉強ができる⇒中高生のみならず中高年も。
- ・座り心地がよく、デザインがおしゃれなイスのある空間の図書館。
- ・子育て世代と他の世代がお互いに時間を過ごせる空間。
- ・防音の部屋があるといい（ブースのようなもの）。
- ・綾部の自然を見ながらくつろげるカフェ的なスペースで本を読めるなら、何度でも通いたい。
- ・小ホールは必ずつくってほしい。人形劇や音楽のコンサートが出来るような。200席～300席の席。
- ・目が疲れた時、同じ姿勢で疲れた時に休憩したり気分転換できるスペースがある。

【バリアフリー】

- ・車イスでも本がさがせる通り道を確保してほしい。
- ・現在の市の状況を考えると高齢者にも利用しやすいものである必要がある。
- ・視覚障害者用対面朗読室（視覚障害者の音声情報録音ブースもあればよい）がある。

### 【子ども】

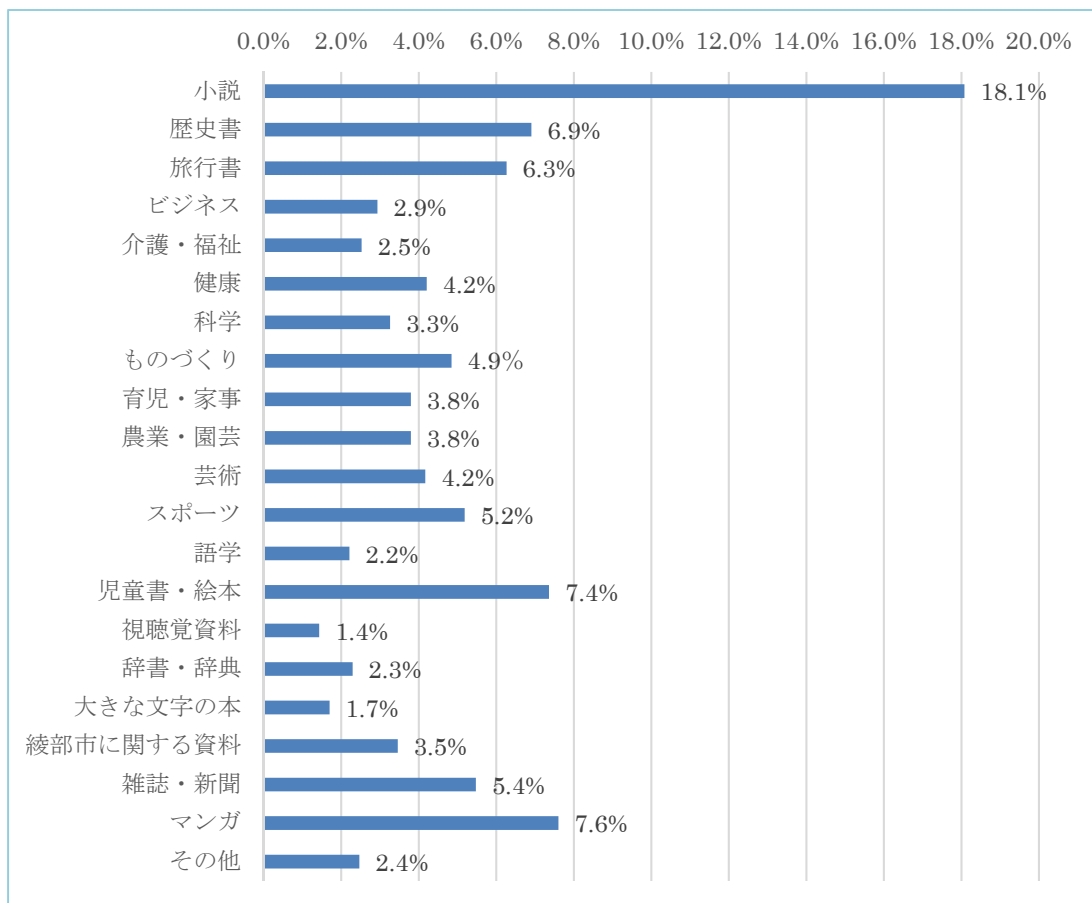
- ・小さい子ども用の独立した部屋がある（0～2才頃はどうしても声の調節ができないことがあるので...）。
- ・キッズルームはぜひ！！
- ・図書館は静かな場所であるけれど、子ども連れでも行ける場所（端の方に）子どもがおもちゃで遊べて親がソファに座って本を読めるようにしてほしい。
- ・乳幼児を連れてきた方子育てのお母さん達が子どもの体調、お昼寝時間など気にせず、いつでも利用できる遊び場も兼ねた場所、本館の中が難しければ、隣接でもそういう場所を…。切に望む。

### 【サービス】

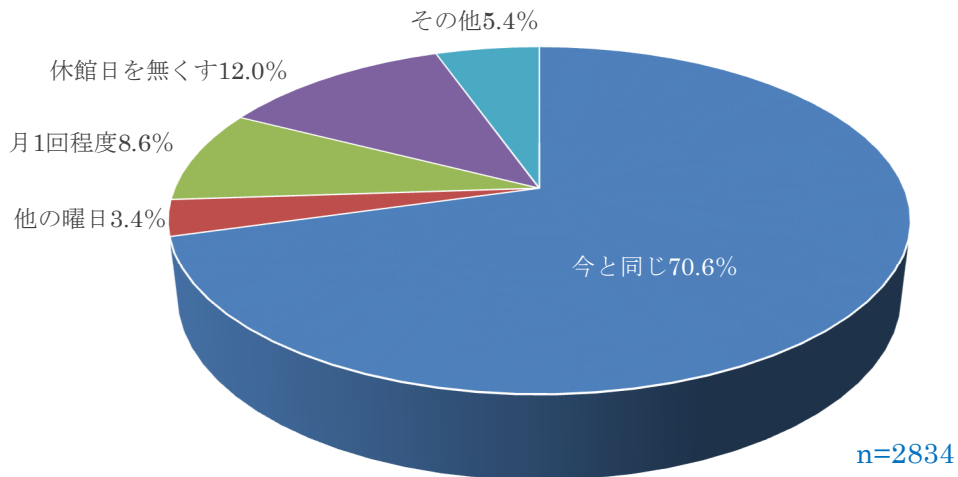
- ・「飲食ができる」については、本などが汚れたりするので、あまりいいとは思わない。
- ・共通の趣味を持つ人たちが出会える場。
- ・本がきれいな状態で保たれている。
- ・遠距離地からも、図書館のコンテンツを充分に使えること。
- ・夜間利用。

## 問 8 新たな図書館にあなたが充実してほしい本はどの分野ですか。

n=8586（複数回答）



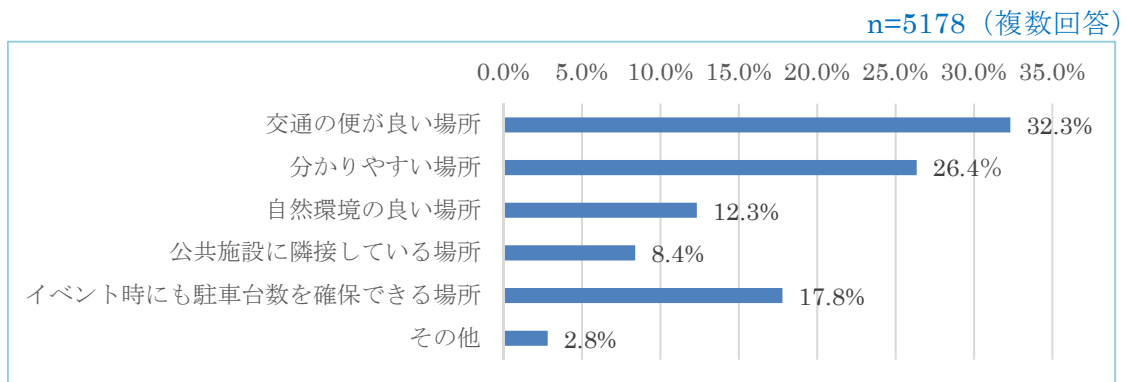
問 9 休館日は次のうちどれがよいとお考えですか。



その他の主な回答内容

- ・ 祝日開館希望。
- ・ 夜間開館希望。
- ・ 開館時間を早める。

問 10 立地の条件について、どのような場所に図書館があればよいと思いますか。



その他の主な回答内容

- ・ 現在の場所。
- ・ 保育園、学校等の近く→格段に来客が増えると思う。
- ・ 綾部駅の近く。
- ・ 駐輪場が広い、2時間は無料。
- ・ 商業施設との隣接化。
- ・ あやバス停の近く。
- ・ 清山荘へはよく行くので、清山荘にあれば良い。
- ・ グンゼスクウェアみたいな立地が望ましい。
- ・ 車で行きやすい所（細い道がない）子どもと自転車で行きやすい。
- ・ 府道沿い綾部駅より西側、駅周辺、宮代、岡、大島あたりがよい。
- ・ 産業創造センター隣。
- ・ アスパやグンゼ辺り。
- ・ 綾部駅周辺か桜が丘あたりに建ててほしい（桜が丘の人は行くのが大変だから）。

- ・新市民センターの周辺。
- ・中丹文化ホールが市郊外なので図書館本館を文化ホール近くに併設する！！
- ・今の市民センターのところ。
- ・子どもたちや学生たちがどんどん利用しやすい場所。
- ・子ども、老人等が危なくない（危険度の少ない処）、下車後図書館までの連絡等。
- ・子どものみで行く場合も危険が少ないところ。
- ・静かな所。
- ・家に近い所。
- ・買い物ついでに寄れる場所。
- ・駐車場をもっと広くしてほしい。

## ■問 1 は、その他、新たな図書館について自由記述でご意見をお聞きました。

自由記入では、施設について、サービスについて、資料についてなど、約 670 件のご意見をいただきました。上記の間以外について書かれたものをまとめています。

### 【施設】

- ・ペースメーカーを入れている者でも安心してはいれるようにしてほしい。
- ・図書館機能の充実はもちろんだが、市の市民課などの出先も併設し住民票とか税金等の手続きもできるような施設にしてほしい。
- ・綾部市・平和の街の象徴である様な外観を持ちスマートな形の図書館にしてほしい。
- ・駐車場から入口に屋根がある通路があると雨降りの日に助かる。
- ・夏場でも利用しやすい様、光を遮るような設備があるといい。
- ・入り易い玄関の雰囲気してほしい。
- ・衛生面をきちんと考えている図書館。
- ・今の場所で同じ環境が落ちつけることから新しくしても変えすぎないようにしてほしい。
- ・あちこちで書店が閉まる中、本好きの人の夢の空間になれば嬉しい。
- ・未来の子ども達に残せるような図書館を作ってほしい。
- ・綾部市図書館大好きです！もっと広々とした空間ならさらに良いと思う。
- ・朗読ボランティア用の朗読・録音のブースがある図書館にしてほしい。
- ・雑誌や書籍のページを自分でコピーできる機械を設置してほしい。
- ・本棚を低くし、床から 30 cm ぐらいいは空けてほしい。一番下の棚は見にくい。通路を広くしてほしい。
- ・本を読む所は受付から離していただきたい。受付する時に気を使ってしまう。
- ・人生を豊かに出来るようなそういう居場所としての価値のある存在感のある施設をつくっていただきたい。

## 【サービス】

- ・今の図書館はこじんまりとしているけれど、あたたかい雰囲気は残して、新しい使い勝手のよい図書館になってほしい。
- ・丹波市の図書館には社会人向けの古典を読む教室などがある。土曜日や日曜日にこのような教室があり、新しい文化的な趣味が図書館で見つけられ、例えば俳句や短歌や川柳などのコンクールや発表の場所が図書館であればうれしい。
- ・図書カードを IC 化し、入館チェック・図書の不法持ち出しチェック・利用状況チェック等を、さらに充実させ、カバンを持っては入れるようにしてほしい。
- ・北海道のお店ののように、合わせて本を選んでもらえるのがいいと思う。
- ・ページ数の多い本は3週間借りられると助かる。
- ・貸出手続きをセルフにしてほしい。
- ・気楽に服装も気にしなくてもいい、農業の本をよく借りるので。
- ・「指定管理者制度」は導入しないこと。
- ・職員はすべて正職員の司書でお願いしたい。
- ・対応してもらえる職員を増やしてほしい。
- ・ミネラルウォーターをつけてほしい。
- ・今は静かすぎるので、オルゴールの BGM など流す。
- ・いらなくなった本の「あげますコーナー」があればいいと思う。

## 【資料】

- ・小説を本屋さんのように並べてほしい、表紙が見たい。
- ・図書館の目的を達するのにふさわしい図書館がうれしい。建物も大切だが、蔵書充実の図書館が嬉しい。
- ・専門書の充実をお願いする。

## 【その他】

- ・図書館はその地域の文化・教育のバロメーター。図書館が元気ないと子どもたちや住民も元気が出ない。町づくりの中心になる図書館を作ってほしい。
- ・地域の方たちが使いやすい親しみのある場所にしてほしい。
- ・子どもや高齢者、障害者、孤立しがちな人、学生、そういった方たちの居場所が綾部に増えてほしい。
- ・今と同様「笑顔あふれる図書館」を期待している。
- ・早く作ってほしい！
- ・クラブ活動の帰りに待ち合わせできると防犯に役立つ。

## 5 「図書館への来館者数の予測」についての資料

愛知工業大学教授 中井孝幸作成

利用予測のフローは、目標とする年間の貸出密度（貸出冊数/人口）を設定し、それを達成するには平均的な休日一日に何人の利用者が来館しなければならないのか、綾部市の利用状況（表-1）や既往研究成果<sup>1,2)</sup>を用いて求めていく。

必要な施設サービスに対して、予測する項目、計算式、数値基準などを予測シミュレーションのフローを表-2に示す。綾部市は人口3.4万人、貸出密度の目標を「望ましい基準」の人口区分の実績値から10冊/人と設定し、①3.4万人×10冊=34万冊/年のサービスを受け持つと仮定して算定する。綾部市図書館は分館がないので、新図書館で34万冊を受け持つと考える。

表-1の平成29年度実績より、②貸出利用者一人当たりの貸出冊数を4.5冊/人（139,780冊/30,530人=4.57冊/人）、③貸出利用者を来館者の60%（H29年度実績52,923人/30,530人=57.6%）として、④平均的な1週間の来館者数を求める。また、表-3の平成29年度の曜日別利用状況から土曜日が22%、他館の調査結果<sup>注1)</sup>では24%となっているので、⑤休日1日が週で占める割合を25%、⑥一日の滞在者数のピークを来館者数の20%とすると、休日の14:30頃のピーク時には館内に100人を超える利用者が滞在している（表-2）。

表-1 綾部市図書館の貸出利用状況(平成29年度)

入館者数(人)	52,923
貸出利用者数(人)	30,530
貸出冊数(冊)	139,780
貸出利用者の割合(%)	57.6%
1人当たりの貸出冊数(冊/人)	4.57

表-2 利用人数の予測シミュレーションと必要な施設サービス

必要量	予測する項目	計算式
駐車場	① 想定人口と目標貸出密度	3.4万人×10冊=34万冊/年
	② 目標年間貸出者数	34万冊÷4.5冊/人=7.5万人/年
	③ 年間来館者数	7.5万人÷60%≒12.5万人/年
	④ 1週間の来館者数	12.5万人÷52週≒2400人/週
	⑤ 土日1日の来館者数	2400人×25%≒600人/日
	⑥ ピーク時の来館者数	600人/日×20%≒120人/ピーク時
	⑦ 車の来館者数	120人×70%=84人/ピーク時
	⑧ ピーク時の必要駐車台数	84人÷2人/台≒42台/ピーク時
駐輪場	⑨ 平日の来館者数	2400人×20%=480人/日
	⑩ ピーク時の来館者数	480人/日×20%≒96人/ピーク時
	⑪ 自転車の来館者数	96人×40%≒38人/ピーク時
閲覧席	⑫ 着座した利用者数	120人×65%≒78人/ピーク時
	⑬ ピーク時の着座人数	78人÷0.5人/席≒156席

表-3 曜日別の来館者数(H29 年度)

調査館	綾部市図書館		
来館者数	土曜	11,790	22%
	日曜	10,806	20%
	月曜	0	0%
	火曜	5,604	11%
	水曜	10,142	19%
	木曜	7,425	14%
	金曜	7,156	14%
計		52,923	100%

表-4 平日・休日の交通手段(一般)

小牧市	平日	休日
徒歩	9.2%	6.6%
自転車	32.8%	27.3%
バイク	1.6%	0.6%
車	52.8%	62.3%
バス	1.6%	0.7%
鉄道	0.1%	0.2%
その他	1.9%	2.3%
回答者数	738	656

### ピーク人数に基づく必要な駐車、駐輪台数の予測

⑦休日の車での来館を70%<sup>1)</sup>、⑧車一台あたりの同乗者数を2人/台とすると、ピーク時に42台(表-2)となり、イベント時の余裕度を1.2とすると約50台程度が必要となる。

自転車での来館は、土日よりも平日の方が多いと考え<sup>1)</sup>、平日の利用状況から台数を算定する(表-4)。平日一日が週で占める割合は、平成29年度の曜日別利用状況から14~19%、表-3から平日17~18%となるため、⑨余裕をみて20%とした。⑩平日も一日の来館者数のピークを20%<sup>1)</sup>、自転車の利用者を40%(表-3)とすると、⑪表-2からピーク時は自転車利用者が38人となり、試験時の学生利用を考慮して余裕度を1.5とすると駐輪場は57台程度が必要になる。

### ピーク人数に基づく必要な閲覧席数の予測

想定した来館者数から必要な座席数について、着座行為率(着座人数/滞在者数)を65%、座席占有率(着座人数/席数)の平常時のピークを50%として算定する<sup>2)</sup>。⑫休日のピーク人数を120人とすると、⑬ピーク時に156席程度が必要となる(表-2)。

利用者は、4~6人掛け閲覧席、カウンター席、キャレル席、グループ学習席、ソファ席、スツールなど多様な座席を利用している。閲覧席の館内全体で必要となる数量は、活動目標を設定して予測することができたが、どの座席タイプをどの割合で計画するかは、今後の設計段階で整理していきたい。

注1) 愛知県小牧市立図書館で1週間(休館日を除く6日間)、中学生以上を対象とした来館者アンケート調査を行い、平日と休日の利用状況の差を整理した。児童は除かれているが、大まかな利用傾向を捉えるには十分だと判断し、曜日別の来館者数の割合、平日と休日の交通手段を表4に示す。予測シミュレーションでは、1週間に対する平日1日が占める割合を20%、休日1日を25%とし、自転車の割合を平日40%、休日を30%として設定した。余裕度については、地域の状況により想定すればよいが、ここでは車を1.2、自転車を1.5として算定した。

注 2) 座席占有率は、座席のタイプはもちろん、机の大きさや椅子の間隔など家具レイアウトにも影響を受けると考えられる。一般的な閲覧席だと 1 人当たり 800～900 mm程度の幅で計画され、この幅が広がると対人距離も確保されて座席占有率は上がるかもしれないが、閲覧席のために必要なスペースも大きくなる。着座には座席タイプだけでなく寸法も関係しているため、今回は一般的な閲覧席を想定し、対人距離も考慮して座席占有率を 50%として計算した。

<参考文献>

- 1) 中井孝幸, 秋野崇大, 谷口桃子: 図書館における利用者属性からみた座席の選択行動と過ごし方-「場」としての公共図書館の施設計画に関する研究 その1, 日本建築学会計画系論文集, Vol.82, No.741, pp.2767-2777, 2017.11
- 2) 中井孝幸: 「利用圏域の二重構造に基づく疎住地の図書館計画に関する研究」、学位論文、2000.7